



農業者の所得増大 & 農業生産の拡大



- ✓ 台風の被災農家へJA単独助成3,234万円(2月)
 該当農家に、平成29年作付け分としてナガイモ、ゴボウ、ネギなど20品目で、JAから購入した種苗費の1/2を助成した。対象農家995戸、対象面積479㌥。
- ✓ 担い手育成を強化(4月、9月)
 ナガイモ、ニンニクに加え、ネギ・ゴボウ・ピーマンで新たに育成塾を開講し、若手農家らが栽培技術を学ぶ(4月)。
 おいらせ町では、若手農家を集めた初の合同勉強会を開催した(9月)。
- ✓ 低温長雨対策本部設置(8月)
 農家組合員に随時、生産臨時情報を提供。全支店・事業所に対策相談室を設け、農作物全般の管理徹底を促した。
- ✓ マネージメントスクール設立(9月)
 儲かる農業経営に向け、30~40代の塾生12人が2年間、財務管理などを学ぶ。
- ✓ 小玉規格トマトパック出荷開始(10月)
 S・2Sの単価アップを狙い、産地パック出荷による契約栽培で3割増しの価格を実現した。
- ✓ ニンニク優良種子増産へ(10月)
 種子生産圃場を30㌥増の4㌥に拡大し、生産農家の規模拡大を後押しする。来年供給分は3万球増の39万球見込む。



地域の活性化

- ✓ 「農業」や「食」を通じて、地域住民との協同活動
 JA地産地消イベントで産地づくめ堪能(2月)、支店のJAまつり(8~11月)、小学校へ出前授業(6~10月)、中高生の就労体験(6~9月)、JA年金友の会「グラウンドゴルフ大会」(9月)、JA収穫祭(10月)、青年部と連携して体験型婚活イベント開催(11月)など。



JA地産地消イベントで地元産づくめ堪能



支店JAまつりで女性部がおにぎり無償提供



出前授業で小学生が地元特産品学ぶ



JA年金友の会のグラウンドゴルフ大会



体験型婚活イベント。地元食材で料理教室

JA十和田おいらせの

自己改革

「農業者の所得増大」

「農業生産の拡大」

「地域の活性化」

に向けた取り組み

